

あーばんとーく

平成 13 年 4 月号 (通巻 第 44 号)
発行：財団法人 神戸市都市整備公社
こうべまちづくりセンター
〒650-0022
神戸市中央区元町通4丁目2番14号
電話 078-361-4523 ・ Fax 078-361-4546
URL: <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

HATフェスティバル

皆でつくるまちづくりイベント

現在、神戸市内全域で開催されている、神戸・21世紀復興記念事業の一環として、HATフェスティバルを開きます。

これまで、まちづくり協議会等の皆様方と行政がともに進めてきた震災復興都市計画事業を、相互に広く紹介し、共有・交流を図ります。神戸のグルメを味わったり、タレントのステージや花火等を見たりしながら明日へのエネルギーを充填しましょう。

皆様、お誘い合わせの上、是非お越しください。

1 日時 5月20日(日)

11時から20時30分

2 場所 HAT神戸 水際広場周辺

神戸市中央区脇浜海岸通

JR 灘駅・阪神岩屋駅南 徒歩約10分

3 主催 神戸市、都市基盤整備公団

4 主なイベント

(1) わがまち情報提供

市内各地のまちづくりの取り組みや、その成果をパネル、ビデオ等で紹介します。また、まちの今昔をたどる写真展を同時に開催します。わいわいガヤガヤ、まちづくり談議を始めましょう。

(2) HATグルメ市場

市内の名物店、地元商店街の専門店など、様々なジャンルの出店による売り手も買い手も楽しめるストリートマーケット。まちづくり協議会による出店もあります。

(3) クルージング

(広報紙等で事前募集)

陸から見るのと海から見るのでは大違い。約45分間のミニクルーズは海から神戸の街並みを眺める絶好の機会です。



(4) ウォークラリー

イベント会場周辺を歩いて、ポイントを集めると、記念品に早変わり。お子さまには、お楽しみプレゼントもあります。

(5) ステージイベント

吉本のライブで思いっきり楽しんでください。その他、キャラクターショーや、アクロバットなどの大道芸もあります。

(6) 海上花火

1日の締めくくりは、やはり花火。江戸太神楽と連動した花火ショーは日本初の登場です。45分間にわたって繰り広げられる舞台と花火は皆様の心に残ることでしょう。

問合せ先 神戸市都市計画局アーバンデザイン室

Tel 078-322-5486

『第4期 こうべ市民安全まちづくり大学』 修了式

昨年9月に開講した第4期こうべ市民安全まちづくり大学も、いよいよ修了式を迎えました。式には、本大学の学長である森脇 俊道 氏（神戸大学都市安全研究センター長）と、笹山 幸俊 神戸市長を迎え、学長から修了証書の授与と、市長から市民安全推進員の委嘱を行いました。



＜森脇学長あいさつ＞

昨年9月からの半年間、皆さん懸命に勉強されたことと思います。私共としても、講師と言う形でお役に立てたなら幸いです。先日のシアトル地震で、シアトルに居る姉への電話が通じず、震災時、海外からE-mailをいただいた事を思い出し、E-mailを送りました。後日、幸い無事という返事をE-mailでもらいホッとしましたのと同時に、いざという時の対処を日頃から考えておくことが大切と痛感しました。これからは地域のまちづくりリーダーとして、神戸のため、地域のために貢献してください。



＜笹山市長あいさつ＞

今日は当大学の修了、心からお喜びを申し上げます。今、「安全・安心のまちづくり」、「コミュニティの再生、育成」が大切になっています。コミュニティとは、市民の皆さん方がいざという時にお互いに助け合える地域を作っていただくことだと思いますので、是非この学校で学んだものを活かして、リーダーとしての役割を持っていただきたいと思っております。

今年度は、入門講座116名、まちづくり講座53名が修了し、新たに44名の市民安全推進員が誕生しました。これで、昨年度までの推進員と合わせて、206名の市民安全推進員が登録されたこととなります。これら推進員の皆さんの地域での活躍を支えるために、また来年度以降も多くの推進員が後に続くように、事務局としても今後いっそう努力してまいります。

自治組織リーダー研修会を開催

去る13年3月17日、たちばな職員研修センターで神戸市自治会連絡協議会と神戸市の共催による「平成12年度自治組織リーダー研修会」が開催され、自治会役員など76人が参加しました。

立木茂雄・関西学院大学教授より「自治会活動と市民力ー近隣助け合いの大切さを見直そうー」というテーマでご講演いただき、講演後、参加者との意見交換が行われました。講演の骨子は次のとおりです。



- ①自律した市民が、連帯して地域共同体の運営に参加することで生まれる地域を担う力を市民力と呼ぶ。
- ②地域活動を活性化するには、地域の間人関係を支援（縦の関係）から交流（横の関係）へ転換させ深めるとともに、地域のみんで共有するもの＝コモンズ（緑、だんじり、震災モニュメントなど）を持つことが大事。
- ③「我がこと・もの」の意識を持って地域活動に取り組むことが住民共有の「我がまち」を築くことにつながる。



イギリスの居住地改善とまちづくり 1

■ はじめに

今回のシリーズでは、住宅政策で先駆的な試みをこれまで実施し、都市・産業構造の再編過程にあるイギリスにおける居住地改善、まちづくりの取り組みのいくつかを報告したい。第1回目は、リバプール市で試みられている住宅政策についてふれてみたい。

■ リバプール市の状況

マンチェスターを大阪とすれば、リバプールは港町である神戸に類似している。産業革命の頃は都市としての隆盛を極めたといわれる。

また、ビートルズを生んだ町で、いまでも世界中から、彼らが無名時代に演奏していた路地裏（キャバンストリート）に人々が集まってきている。ビートルズはなぜリバプールで生まれたのか。港湾再開発区域にある「ビートルズストーリー」（展示館）の解説によれば、第二次大戦欧州戦線でのアメリカ軍需物資の集積地がここリバプールであったからである。人、物とともに文化（ここではアメリカの音楽）も集積し、大戦後、数百のバンドがこの地で切磋琢磨した。そこから生まれたのがビートルズだということである。ビートルズが偶然だけでなく、このような都市をとりまく社会構造から誕生したというのは興味深い。

このリバプールも、1960年代からの英国における重工業の停滞にともない、港湾、重工業に立脚して発展していたことを背景に急速に衰退した。市内の住宅地でも、住環境が継続(sustainable)している地区と衰退(declining)している地区とがはっきりわかれてきている。

■ リバプール市住宅局

来日したバージェス民間住宅課長と大阪で会ったとき、彼は神戸の震災について悲しむべき災害だと語った。リバプール市役所では、まる一日かけて、彼の4人のスタッフから綿密なプログラムに従い説明がされた。住宅局(Housing and neighborhood Services)は、民間住宅地、公営住宅地のどちらも施策対象にしている。公営住宅は、住宅協会(Housing Association)への移管が進められている。一方で、インナーエリアの民間住宅地の再生(Regeneration)にも重点がおかれている。

住宅協会は、戦前から非営利の慈善団体として、高

齢者向け、身体障害者向けなどの特定目的の住宅を供給してきた(住宅版NPOといえるか)。1979年のサッチャー政権の成立により、公営住宅は、居住者や住宅協会への移管が進められ、住宅協会の数も増加している(リバプールで約40ある)。制度の詳細は省略するが、特筆すべきは、移管するかどうかを居住者による投票で決定するというシステムが取られていることである。理事会に居住者代表が参画している地区もある。

大規模団地では、HAT(Housing Action Trust)という信託事業がおこなわれ、住宅改善だけでなく、職業訓練などを含むコミュニティ再生事業が実施されている。

■ 民間居住地改善

インナー地域の衰退は深刻で、人々はより良い住宅を求めて市外に出ていっている。都心居住の推進としてオフィスの住宅転用を誘導したり(写真)様々な施策を実施している。



居住地改善の戦略として、現在、市は「ケンジントン地区」再生に力をいれており、住宅局、保健福祉局、警察、住宅協会、各NPO、教会等と「チーム」をつくり、住民と集会を重ねている。これまでの行政の縦割り(イギリスでは煙突方式という)への反省がなされ、地区の再生には、住宅、雇用、健康、教育、防犯など包括的な問題解決が必要で、行政以外のスタッフの参画もなくてはならないものとなっている。

視察の最後に、ケンプ住宅局長は私にこう語った。「(都市再生では)なによりもコミュニティを考慮することが大切です。」

矢島 利久(住宅局住環境整備課主査)

せん太ちゃん

vol.3

宗



平成12年度復興まちづくりセミナー

洋菓子文化とまちめぐり

今年度のセミナーは、灘・東灘区を対象に洋菓子店が、復興のまちづくりにどのような役割を果たしたかといった視点で参加者みんなでまちめぐりを行いました。

3月10日の当日は、寒くて小雨が降るあいにくの天候でしたが、市内だけでなく遠く京都、奈良から約100名の方に参加していただきました。

まず、三宅正弘氏（武庫川女子大非常勤講師）から「洋菓子文化」をテーマに、「おしゃれな洋菓子店」がまちの景観に与えるインパクトやまちの魅力づくりへの貢献、おいしいケーキとお茶のできる喫茶店の「現代井戸端会議」の役割などの「まちにおける洋菓子店役割と文化性」を分かり易く講演してもらい、その後参加者みんなでイベントにご協力いただいた洋菓子店を掲載した地図を片手にまち歩きをしました。

また、ある洋菓子店では、店の方から「震災時の店の様子」「まちへの思い」など普段聞けないお話もあり、参加された皆様には好評でした。



まちづくり会館からのお知らせ

こうべまちづくり会館 地階ギャラリーの予定

期 間	内 容・テ ー マ	主 催 者
4月5日(木)~10日(火)	あじさい会作品展(水彩)	清風公民館水彩画同好会
4月12日(木)~17日(火)	アルペジオ教室作品展(油彩等)	金光 明子
4月19日(木)~24日(火)	いくた15人展(油彩)	いくた15人展
4月26日(木)~5月1日(火)	第二回 新樹会	新樹会
5月3日(木)~5月8日(火)	写真展	瀬川 進

こうべまちづくり会館 1階オープンギャラリーの展示

4月の展示	下町リフォーム (長田での取り組み/路地整備・住宅供給)	神戸市住宅局
-------	---------------------------------	--------

図書販売のお知らせ

協働のまちづくり・すまいづくり —震災復興土地区画整理における共同建替の記録—	¥1,500	別途送料を申し受けます。 申し込みは、当センターまで
--	--------	-------------------------------